



# 答 申 書

焼津市公民館運営審議会

平成27年3月27日

焼津市教育長 山梨 隆夫 様

焼津市公民館運営審議会  
会長 近藤 征夫

## 自主講座のあり方及び自主グループへの支援について（答申）

公民館は地域の皆様に学習する場所と機会を提供するだけでなく、仲間づくりやまちづくりを担う人材を育成する中核的な拠点施設としての機能が期待されています。特に東日本大震災以降、少子高齢化に加えて地震津波への不安や雇用機会を求めて人口の流出が加速している中、その役割は増すばかりです。

しかし、公民館が主催する講座は、生きがいくくりや趣味・稽古事が大半を占めており、地域課題を解決する内容のものが少ないのが現状です。

焼津市公民館運営審議会では、諮問に基づき「自主講座のあり方と公民館主催講座を受講後に結成された自主グループへの支援」について検討してまいりました。この答申により、公民館が多様な学習機会や集会の場の提供など、地域における住民の学習需要に総合的に応える社会教育施設として充実が図られることを期待して提案します。

### 記

## I 自主講座のあり方

### 1 現状

主催講座の一つとして毎年開催されている自主講座は、市内全体で約500講座に上り、公民館運営において大きな比重を占めています。講師には地域の人材を活用し、スポーツ、音楽、書道、美術、絵画、文学、手芸、料理、IT、趣味、語学といった幅広い種類が設けられ、地域住民が自分に合ったものを選択して気軽に受講できます。

平成25年度に実施した自主講座の受講者へのアンケート結果によりますと、受講者の68%は居住地の公民館を利用しており、男女比では圧倒的に女性が多く、その割合は80%を占めています。また、受講経験年数は平均で5年7か月となっており、各講座とも新規受講者に比べて、数年間継続して受講している人が多数を占めています。年齢別では60代、70代が全体の67%を占めており、自主講座は高齢者の生涯学習の場として非常に重要な役割を果たしています。その他、全体の28%が複数の自主講座を受講していることや、自主講座の19%が福祉施設等の慰問を行うなどの館外活動をしていることが明らかになりました。

## 2 課題と改善の方向性

アンケート結果から分かるように、自主講座は各公民館対象地域内の女性高齢者のニーズに合致しており、毎年安定的に受講者を確保しています。

しかし、その反面、受講者の固定化と受講者層の偏りが課題として挙げられます。また、講座によっては初心者と継続受講者のレベルの違いにより、初心者が早期に退講するケースも見受けられます。これは、自主講座を前年踏襲で継続開催してきた公民館運営に大きな要因があると思われます。そこで、次のような改善を提案します。

### (1) 自主講座から自主グループへの移行

現在実施している自主講座は原則廃止し、学習の継続を希望する受講者に対しては自主グループへの移行を促します。移行を円滑に進め、自立した団体に育成するためには引き続き一定の支援が必要です。

### (2) 新たな主催講座の企画

自主講座の廃止に伴い、4回から10回程度の主催講座を新たに開催することを提案します。

また、新たな主催講座では、公民館と講師で学習内容を十分に検討し、受講者全てが同じ学習内容となる学習計画書を作成することを提案します。

なお、講座の企画・実施にあたっては、次の視点を取り入れる必要があります。

#### ア 地域課題の解決につながる講座

地域が抱える様々な課題を学習テーマとして取り上げ、課題についての情報の共有や解決に向けての学習、さらには課題に取り組む機運を高めるような講座の企画・実施を提案します。

#### イ 受講者層の拡大を図る講座

公民館が地域の拠点施設として機能の向上を図るためには、受講者層の拡大が必要です。講座内容を工夫して、現在は利用が少ない若者、男性、子育て世代をターゲットにした講座の企画・実施を提案します。

#### ウ 新たな講師の発掘と育成

近年、女性の社会進出や健康長寿化に伴い、趣味や習得したスキルを活かす場を求める人が増えています。こうした新しい人材を地域の中で発掘し、育成することが重要です。新しい講師の活躍により、公民館活動の活性化や受講者の獲得につながるものと考えます。

## エ 外部組織等の活用

新規の事業を企画する場合には、公的機関、民間企業、NPO等の専門性を活用するとともに、文化連盟や音楽連盟等の市内各種社会教育団体の協力を積極的に仰ぎ、講座の企画・実施に役立てていく必要があります。

## Ⅱ 自主グループへの支援について

### 1 現状

市内公民館には、自主講座等の公民館主催講座を受講後に結成された自主グループが、平成26年度現在、68グループ存在しています。

自主グループは、特定の公民館に登録される有志の団体で、利用料金の半額減免や会議室の優先予約などの支援を受けています。このような支援は、学習の継続を促すために非常に有効です。

### 2 課題と改善の方向性

自主グループについては、各公民館においてその定義や支援内容に差異が生じているなどの課題が見受けられます。

今後は既存の自主グループに加え、現在の自主講座から移行する自主グループ、新たな主催講座を受講後に結成する自主グループなど、経緯の異なる自主グループが公民館で活動することになります。

すべての自主グループが公民館を拠点に活動を継続し、地域社会の活性化や地域文化の振興の原動力となるように、次の改善を提案します。

#### (1) 自主グループの定義と支援内容の統一化

自主グループについて、講師の有無などの学習形態や構成人数、年間の学習頻度などの基準を明確にし、公民館が行う支援内容について統一化を図る必要があります。

#### (2) 自主グループ活動の推進と公表

自主グループの活動を推進するため、活動内容を広く公表し、会員数及び協力者の拡大につながるような支援が必要です。

#### (3) 地域貢献活動に対する表彰

地域に貢献する自主グループの活動を評価するため、市独自の制度を設けて積極的に表彰することが自主グループの発展につながります。

### Ⅲ まとめ

当審議会では、市当局から示された「自主講座参加者の固定化を解消し、学びの循環を作るために、生きがいつくりや趣味・稽古事を学ぶ自主講座を自主グループへ移行する」との方針案について審議検討してまいりました。その過程で、現在の自主講座、自主グループの課題等が浮かび上がり、それぞれについて改善の方向性をご提案させていただきました。

今後、自主講座から自主グループへの移行の促進にあたっては、公平性と透明性を確保するため、情報の公表と受講者に対する十分な説明と配慮のもと、慎重に進められることを望みます。

この答申に基づく改善によって、地域の身近な学習・交流の場である公民館の活動がより活性化され、住民の生涯学習がさらに充実したものとなると同時に、豊かな地域社会の形成に役立つことを期待しています。

焼津市公民館運営審議会委員名簿

役名	氏名	選出区分	団体名等
会長	近藤征夫	社会教育課選出	元大富公民館建設推進委員 元焼津市第19自治会長
会長 職務代理	池谷久治	公民館推薦	焼津市青少年教育相談センター運営協議会委員 大井川公民館コミュニティ推進会会長
委員	齋藤 育子	公民館推薦	元焼津公民館運営審議会委員
委員	伊藤稔英	公民館推薦	元北部コミュニティ推進協議会会長
委員	塩澤 康男	公民館推薦	豊田第9自治会長
委員	向坂智子	公民館推薦	小川公民館活動者
委員	平田瑞江	公民館推薦	港公民館活動者
委員	伊藤忠雄	公民館推薦	前東益津第15自治会長
委員	原川由美子	公民館推薦	前第20自治会女性部長
委員	戸塚英子	公民館推薦	元和田公民館運営審議会委員
委員	岡村 泉	社会教育課選出	焼津市文化連盟工芸協会理事
委員	大滝由美	社会教育課選出	焼津市主任児童委員
委員	北野八十次	公募委員	
委員	藁品 均	公募委員	
委員	保科 洋子	公募委員	